

越中國立山

布橋灌頂会

ぬのばし かんじょうえ

A sacred path to rebirth,
bridged by white prayers.

The Nunobashi Kanjoe Ceremony began as a prayer for salvation by women who were forbidden from making the pilgrimage to Mt. Tateyama. Participants cross a vermilion-lacquered bridge said to connect this world and the next, stepping carefully upon white cloth laid across the bridge. Transcending time, this beautiful and solemn ritual continues to purify hearts even today.

Nunobashi Kanjoe Ceremony

2026.9.27 SUN
10:00-12:00 小雨決行

白き祈りがつなぐ、再生の道。

立山登拝を許されなかった女性たちの、救いへの祈りから始まった「布橋灌頂会」。

この世とあの世を繋ぐ朱塗りの橋を、白布を踏みしめ渡ります。

その美しく荘厳な儀式は、時を超えて今も人々の心を優しく浄化しています。



English page
中文網站



富山県出身の俳優、エッセイストで「高志の国文学館」館長の
室井滋さんを特別ゲストに迎え
女人衆として参加いただきます。

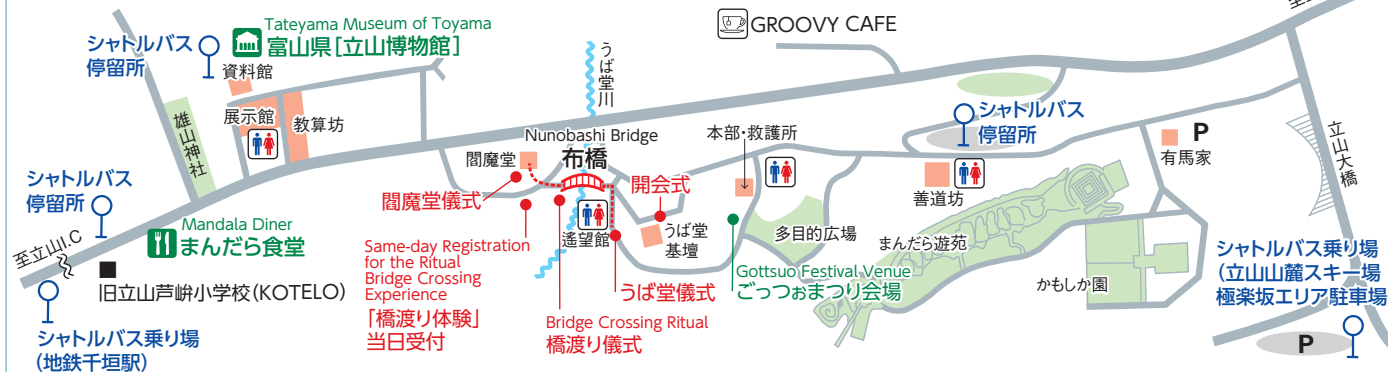
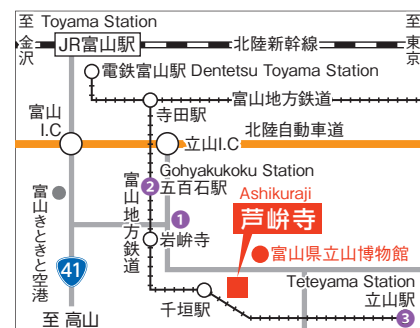
周辺観光MAP

新モビリティ E-BIKEレンタル中！

レンタルは立山町内3か所で受付中！マウンテンバイクに電動アシスト機能が組み込まれた車体で、起伏のある立山町の地形でも楽にサイクリングを楽しんでいただけます。
詳しくは(一社)立山町観光協会ホームページへ。→
※イベント当日(9/27)は①③でのみレンタル可能です。



- ①モンベル立山ベースキャンプ 立山町吉峰野開12 076-413-3511 9:00～17:00 年中無休
②立山町観光協会(五百石駅前) 立山町前沢1209-18 駅前プラザ1階 076-462-1001 9:00～16:00 定休日:日・祝
③立山観光案内所(立山駅前) 立山町芦崎寺ブナ坂42 LOCOMOTION COFFEE AND BED 1階 076-462-1001 9:00～15:30 定休日:火・水



Nunobashi Kanjoe Ceremony 布橋灌頂会

橋渡り儀式 10:00～12:00



Ritual Bridge Crossing Experience 橋渡り体験

当日参加可能
詳しくは中面へ→

Tateyama Museum of Toyama 富山県[立山博物館]

9:30～17:00(入館16:30まで)
立山町芦崎寺93-1 076-481-1216
記念展「布橋灌頂会の魅力がわかる!」と企画展「立山黒部を貫く!電源開発と観光」を開催中。オススメです!



Mandala Diner まんだら食堂

11:00～15:00
立山町芦崎寺55-1 090-8269-9241
地元の方が一つ一つ手摘みした山菜で、かつて宿坊で出していた御膳を再現!



イメージ(季節により変更)

電車ご利用の方:富山地方鉄道「立山線」の【千垣駅】から
自家用車でご来場の方:【立山山麓スキー場(極楽坂地内)】から 無料シャトルバスを運行!

行き 電鉄富山駅⇒千垣駅⇒立山山麓スキー場極楽坂地内⇒会場						帰り 会場⇒千垣駅⇒電鉄富山駅 ⇒立山山麓スキー場極楽坂地内					
富山地方鉄道(休日時刻表)		シャトルバス(無料)				シャトルバス(無料)				富山地方鉄道(休日時刻表)	
電鉄富山駅:発	千垣駅:着	千垣駅:発	旧立山芦崎小学校(KOTELO)	立山山麓スキー場極楽坂地内	会場:着	会場:発	立山博物館	旧立山芦崎小学校(KOTELO)	千垣駅:着	立山山麓スキー場極楽坂地内	千垣駅:発
5:50	6:44	6:50	6:55	-	-	11:30	11:40	-	11:50	12:05/12:25	12:01
7:14	8:03	8:10	8:15	8:25	8:35	12:35	-	12:45	12:55	-	13:01
-	-	-	-	9:00	9:10	13:15	-	-	-	13:25	-
8:20	9:10	9:20	-	9:50	10:00	13:35	13:45	-	13:55	-	14:01
9:10	10:10	10:15	-	-	10:25	14:05	-	-	-	14:15	14:56
-	-	-	-	10:40	10:45						

※道路事情等により時間通りに運行できないことや到着が遅れることがあります。
※お車で越しの方は、当日会場周辺には駐車場がありませんので、立山山麓スキー場極楽坂エリア駐車場から無料シャトルバスをご利用ください。

布橋灌頂会実行委員会事務局 (一社)立山町観光協会
〒930-0221 富山県中新川郡立山町前沢1209-18 駅前プラザ1階 TEL.076-462-1001

主催/布橋灌頂会実行委員会 特別協力/富山県[立山博物館]
協賛/芦崎寺自治会、丸新志鷹建設株式会社、有限会社 北信興産、株式会社 志鷹組、立山建設株式会社、株式会社 ゴールドウイン、
株式会社 フクール、KOTELO、立山山荘協同組合、立山山麓観光レクリエーション地区整備推進協議会、
公益財団法人 明治安田クリティオプライフ文化財団
後援/観光庁、富山県、立山町 受賞履歴/2014年度サントリー地域文化賞受賞、日本ユネスコ協会連盟「第3回プロジェクト未来遺産」登録



検索

ゆくたび、たてやま

yukutabi-tateyama.jp

白き祈りがつなぐ、再生の道。

Nunobashi Kanjoe Ceremony

布橋灌頂会

橋渡し儀式 10:00～12:00
会場:閻魔堂～布橋～遙望館

江戸時代に霊山立山への登拝が許されなかった女性が、白装束姿で白い布が敷かれた橋を渡し、極楽浄土を願う立山信仰の里・芦峯寺ならではの現代の癒やしの行事。閻魔(えんま)堂での儀式後、雅楽が流れる中、目隠しをした姿で僧侶に導かれ、この世とあの世との境界とされる朱塗りの布橋を渡し、うば堂に入ります。うば堂にあたる遙望(ようぼう)館の暗闇で、目隠しを解くと室内の覆いが上がり、立山につながる別世界が目前に広がります。今回も3年ぶりの開催になります。ぜひこの機会にご体感ください。

白装束の女人衆参加者募集

【募集人数】80名 【参加費】30,000円(税込)

【参加資格】全国にお住まいの、お一人(補助なし)で橋渡りできる女性 ※目隠しをとしての歩行・階段の昇降あり。

【申込期間】2026年6月1日(月)～6月22日(月) ※堂内での正座あり。

【応募方法】

①往復はがき 50名 ※応募者多数の場合は抽選

◇往復はがきの書き方

6月22日(月)必着

*往信オモテ
〒930-0221
富山県中新川郡立山町前沢1209-18 駅前プラザ1階
布橋灌頂会実行委員会事務局 宛
*往信ウラ
①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④生年月日
⑤身長(白装束のサイズの参考のため)
⑥電話番号(日中連絡がとれる番号)
*返信オモテ 申込者の郵便番号・住所・氏名
*返信ウラ 何も記入しないでください。

②立山町ふるさと納税 先着10名

ふるさと納税返礼品として、布橋灌頂会女人衆参加枠をご用意いたします。設定した枠数に達し次第締め切ります。

※立山町民の方は返礼品を
お申し込みいただけません。

ふるさとチョイス 布橋灌頂会

※6/22締切後、抽選次第、結果をご通知します。(7月上旬ごろ) ※必要事項の記入漏れや不明点がある物は対象となりませんのでご注意ください。 ※お申し込みいただいた個人情報は、布橋灌頂会女人衆お申し込み以外に使用することはありません。

見学無料

会場内での注意事項

- 安全柵・安全ロープから外には出ないでください。
- お墓には登らないでください。
- 係員の指示に従ってご見学ください。
- ドローンの飛行及び撮影は禁止いたします。

布橋灌頂会は、江戸時代(1603～1867年)に女性の極楽往生を願った儀式であり、男性にのみに許された立山禅定登拝に代わるものとして誕生しました。この儀式は、約130年間中断された後、1996年に復活し、現在では3年に一回開催されています。

布橋灌頂会は、死と再生の儀式と考えられています。参列者は、まず死装束を身につけます。巡礼と同じように、地獄の裁判官である閻魔大王の裁きを受けるため、閻魔堂を訪れることから始まります。

その後、女性たちは目隠しをし、布橋まで進みます。布橋を渡ることは、仏教の伝承で生者の世界と冥界を隔てる三途の川を渡ることを表現しています。橋には、3本の白い布が敷かれ、女性たちが通るべき道が示されています。橋の下には大蛇が潜んでおり、布を踏み外すと地獄に落ちると言われています。目隠しをする理由としては、視覚を塞ぎ感覚を鋭敏にすることで、集中力を持続させるためだと言われています。

この儀式はうば堂というおんばさまを祀るお堂で終わり、参列者は霊峰・立山を見ながら霊的な再生を遂げます。うば堂は、19世紀後半明治政府が導入した政策(神仏分離令)に従い破壊されてしまいました。そのため、現代の布橋灌頂会は、かつてうば堂が建っていた場所の付近にある遙望館が終着点となります。

布橋灌頂会については、富山県「立山博物館」において、展示や映像で確認できます。また、立山博物館ではうば尊像(1375年)も見ることができます。

Nunobashi Kanjoe Ceremony

The Nunobashi Kanjoe is a spiritual purification ceremony for women created during the Edo period (1603–1867), to pray for their rebirth in the Pure Land after death. It was established as an alternative to the pilgrimage to Mt. Tateyama, which was traditionally restricted to men only. This ceremony was resumed in 1996 after being stopped some 130 years before, and is now held once every three years.

As the ceremony is believed to be a symbolic ritual of death and rebirth, participants wear white robes that resemble burial garments. As in the men's pilgrimage, it begins with a visit to the Enmado Hall, where they receive judgment from King Enma, the ruler and chief judge in hell.

After the visit, the women are blindfolded and led to the Nunobashi Bridge. Crossing the bridge represents crossing the Sanzu River, which in Buddhist belief separates the world of the living from the afterlife. Three strips of white cloth are laid across the bridge to indicate the paths for the women to walk on. It is said that a huge serpent hides under the bridge and the women fall into hell if they step off the cloth. One of the reasons why they are blindfolded is so that they can stay focused as the blocking of their sight sharpens their senses.

This ceremony used to end at the Ubado Hall, in which Onbasama, an old female deity and protector of women, is enshrined.

Here, participants could experience spiritual rebirth while viewing the sacred peaks of Mt. Tateyama. However, the hall was demolished during the late 19th century following government policies that separated the Shinto and Buddhist religions. Today, the ceremony ends at Yobokan, located near the former site of the Ubado Hall.

The Tateyama Museum of Toyama provides information on this ceremony through displays and video footage, as well as the statue of Onbasama that dates from 1375.

布橋灌頂会

布橋灌頂会は江戸時代(1603-1867年)祈福女性極楽往生の儀式、代替僅允許男性的立山禅定登拝而誕生。這個儀式被中断大約130年，於1996年恢復，現在3年舉辦一次。

布橋灌頂会可視為死與重生的儀式。参列者首先穿著「死装束」。和巡禮相同，由於要接受地獄裁判官閻魔王的裁判，從拜訪閻魔堂這一步開始。

之後，女性們遮住雙眼，前進到布橋。渡過布橋意味著，渡過根據佛教傳承隔絕現實世界和死後世界的三途河。橋上鋪著3條白布，示出女性們應該通過的道路。橋下潛伏著大蛇，據說踏出布外就會掉落到地獄。作為遮住雙眼的一個理由，據說是為了透過封閉視覺使感覺更加敏銳，以持續集中力。

這個儀式在所謂的姥堂，即祭祀Onba-sama之堂結束。参列者可眺望靈峰立山同時實現重生。姥堂由於19世紀後半明治政府導入的政策(神佛分離令)而被破壞了。因此，現代的布橋灌頂会，以姥堂曾經建造場所附近的遙望館為終點。

關於布橋灌頂会，在富山縣「立山博物館」，可透過展示與影片加以確認。另外，在立山博物館也可參觀姥尊像(1375年)。

布橋灌頂会

ぬのばしかんじょうえ



English page
中文網站

For General Participants' Ritual Bridge Crossing Experience

一般参加者の橋渡し体験

布橋灌頂会終了後
12:20～12:50ごろ



参加方法:当日受付(先着250名様)
体験料:1人3,000円(税込)参加記念品付き
性別・年齢を問わず、ご参加いただけます。
目隠しは事務局でのご用意します。
※小学生以下無料(記念品はありません)
※団体での参加をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。

見学無料

Ashikura Gottsuo Festival

芦峯ごっつおまつり

11:00～14:00
会場:本部前広場

芦峯寺の郷土料理「つば煮」や「やきつけ」などを販売します。



(売り切れの際はご容赦ください)